

北見工業大学学報

第235号 (2009年9月号)

目 次

| | | |
|----------------------|---|----|
| 学位記授与式 | 平成21年度9月期学位記授与式举行…………… | 2 |
| 入 試 | 平成21年度大学院入学試験合格発表…………… | 3 |
| | 平成22年度学生募集要項の公表…………… | 4 |
| 研 究 助 成 | 平成21年度共同研究の受入状況…………… | 7 |
| | 平成21年度受託研究の受入状況…………… | 7 |
| | 平成21年度奨学寄附金受入状況…………… | 7 |
| | 平成21年度(財)クリタ水・環境科学振興財団研究助成金の課題採択決定…………… | 7 |
| 諸 報 | サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP) 事業を実施…………… | 8 |
| | 「科学研究費補助金パワーアップセミナー」を開催…………… | 9 |
| | おもしろ科学実験を開催…………… | 10 |
| | 北見工業大学「技術士養成支援講座」の開講式…………… | 11 |
| | 平成21年度北見工業大学技術部技術員研修会を開催…………… | 12 |
| | 財務諸表等の開示…………… | 13 |
| | メンタルヘルス講演会を開催…………… | 13 |
| | 全国4大学による学生支援GPシンポジウムを開催…………… | 14 |
| | 救急救命講習会を開催…………… | 15 |
| | SVBLオープンラボ(研究報告会)を開催…………… | 16 |
| 父母懇談会(秋季・札幌)を開催…………… | 17 | |
| 日 誌 | 8月・9月…………… | 18 |

= 学位授与式 =

平成 21 年度 9 月期学位記授与式挙行

(総務課)

平成 21 年度 9 月期学位記授与式が、9 月 11 日（金）午前 10 時から、本学第 1 会議室及び第 2 会議室で行われました。

今回の授与式は、理事、副学長、事務局長、指導教員の他、修了生のご家族・関係者の方々も多く列席するなか、大学院工学研究科博士前期課程・博士後期課程修了者

及び論文博士に対し、鮎田学長から学位記が授与され、学長告辞において修了者ひとりひとりにねぎらいの言葉がありました。

また、式終了後には修了者とご家族が記念撮影を行うなど、喜びを分かち合う姿が見られました。



↑ 学位記の授与を待つ修了者たち



↑ 鮎田学長（右）より学位記を授与される修了者の様子

= 入試 =

大学院入学試験の実施

(入 試 課)

平成 21 年度秋季及び平成 22 年度大学院入学試験が、8 月 24 日～26 日に実施されました。
課程別専攻別の合格者数等は次表のとおりです。

平成 21 年度(秋季)博士前期課程(外国人留学生特別入試)

| 専攻名 | 募集人員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 |
|------------|------|-----|-----|-----|
| 機械システム工学専攻 | 若干人 | 0 | 0 | 0 |
| 電気電子工学専攻 | | 0 | 0 | 0 |
| 情報システム工学専攻 | | 1 | 1 | 1 |
| 化学システム工学専攻 | | 0 | 0 | 0 |
| 機能材料工学専攻 | | 0 | 0 | 0 |
| 土木開発工学専攻 | | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | 1 | 1 | 1 |

平成 21 年度(秋季)博士後期課程(一般入試)

| 専攻名 | 募集人員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 |
|----------|------|-----|-----|-----|
| システム工学専攻 | 若干人 | 1 | 1 | 1 |
| 物質工学専攻 | | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | 1 | 1 | 1 |

平成 21 年度(秋季)博士後期課程(外国人留学生入試)

| 専攻名 | 募集人員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 |
|----------|------|-----|-----|-----|
| システム工学専攻 | 若干人 | 0 | 0 | 0 |
| 物質工学専攻 | | 4 | 4 | 4 |
| 合計 | | 4 | 4 | 4 |

平成 22 年度博士前期課程(一般入試)

| 専攻名 | 募集人員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 |
|------------|------|-----|-----|-----|
| 機械システム工学専攻 | 16 | 35 | 33 | 31 |
| 電気電子工学専攻 | 16 | 18 | 17 | 14 |
| 情報システム工学専攻 | 16 | 15 | 14 | 14 |
| 化学システム工学専攻 | 14 | 16 | 16 | 16 |
| 機能材料工学専攻 | 10 | 22 | 21 | 19 |
| 土木開発工学専攻 | 20 | 22 | 22 | 22 |
| 合計 | 92 | 128 | 123 | 116 |

平成 22 年度博士前期課程(外国人留学生特別入試)

| 専攻名 | 募集人員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 |
|------------|------|-----|-----|-----|
| 機械システム工学専攻 | 若干人 | 0 | 0 | 0 |
| 電気電子工学専攻 | | 0 | 0 | 0 |
| 情報システム工学専攻 | | 2 | 1 | 1 |
| 化学システム工学専攻 | | 0 | 0 | 0 |
| 機能材料工学専攻 | | 0 | 0 | 0 |
| 土木開発工学専攻 | | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | 2 | 1 | 1 |

平成 22 年度学生募集要項の公表

(入試課)

平成 22 年度北見工業大学学生募集要項(一般入試・特別入試・大学院博士後期課程)が 10 月に公表されました。

要項の内容は、7 月に公表された入学者選抜要項の内容を含め、出願手続、個別学力検査実施日程の詳細、検定料その他入学者選抜上の具体的事項及び留意点を記載し、出願書類等を同封したものです。

募集要項の主な内容は以下のとおりです。

一般入試

特別入試(推薦入試・帰国子女特別入試)

| | |
|--|---|
| <p>1.募集人員 下記別表のとおり</p> <p>2.願書受付期間 平成 22 年1月 25 日(月)～2月3日(水)</p> <p>3.個別学力試験の期日 前期日程 課しません 後期日程 平成 22 年3月 12 日(金)</p> <p>4.合格者の発表 前期日程 平成 22 年3月6日(土)(予定) 後期日程 平成 22 年3月 20 日(土)(予定)</p> <p>5.入学手続期間 前期日程 平成 22 年3月8日(月)～3月 15 日(月) 後期日程 平成 22 年3月 21 日(日)～3月 27 日(土)</p> <p>6.追加合格通知期間 前・後期日程とも、 平成 22 年3月 28 日(日)～3月 31 日(水)</p> | <p>1.募集人員 下記別表のとおり</p> <p>2.願書受付期間 平成 21 年 11 月2日(月)～11 月9日(月)</p> <p>3.選抜試験の期日 平成 21 年 12 月4日(金)</p> <p>4.合格者の発表 平成 21 年 12 月 16 日(水)</p> <p>5.入学手続期間 平成 22 年 1 月 18 日(月)～1月 22 日(金)</p> |
|--|---|

○募集人員

(人)

| 系・学科名 | | 入学定員 | 募集人員 | | |
|-----------------------------|-------------------|------|------|------|------|
| | | | 前期日程 | 後期日程 | 推薦入試 |
| 機 械 ・ 社 会 環 境 系 | 機 械 工 学 科 | 160人 | 70人 | 50人 | 40人 |
| | 社 会 環 境 工 学 科 | | | | |
| 情 報 電 気 エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス 系 | 電 気 電 子 工 学 科 | 140人 | 63人 | 42人 | 35人 |
| | 情 報 シ ス テ ム 工 学 科 | | | | |
| バ イ オ 環 境 ・ マ テ リ ア ル 系 | バ イ オ 環 境 化 学 科 | 110人 | 46人 | 36人 | 28人 |
| | マ テ リ ア ル 工 学 科 | | | | |
| 工学部合計 | | 410人 | 179人 | 128人 | 103人 |

※入学後1年間は各系に所属し、2年次進級時に本人の志望及び学業成績により系内の学科に移行します。

注① 後期日程の募集人員には、各系とも帰国子女特別入試の募集人員若干人を含みます。

② 推薦入試の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を後期日程の募集人員に加えて募集します。

○個別学力検査 日時・会場

・日時(後期日程)

| 期日 | 教科 | 時間 |
|-------------------|----|-------------|
| 平成 22 年3月 12 日(金) | 数学 | 10:00～12:30 |
| | 理科 | 14:00～15:30 |

・受験会場 北見工業大学または大阪会場(関西大学天六キャンパス)

平成 22 年度大学院工学研究科博士後期課程

| | |
|-------|--|
| 専攻 | 生産基盤工学専攻 寒冷地・環境・エネルギー工学専攻 医療工学専攻 |
| 入試の種類 | 一般入試 社会人入試 外国人留学生入試 |
| 募集人員 | ・一般入試・社会人入試・外国人留学生入試 生産基盤工学専攻 3人 寒冷地・環境・エネルギー工学専攻 3人 医療工学専攻 2人 |
| 出願資格 | 修士の学位を有する者又は平成 22 年 3 月までに取得見込みの者 等 |
| 出願期間 | 平成 22 年 1 月 18 日(月)～1 月 22 日(金) (出願資格の事前審査受付 平成 21 年 12 月 1 日(火)～平成 21 年 12 月 4 日(金)) |
| 試験日 | 面接試験 平成 22 年 2 月 8 日(月) |
| 合格発表 | 平成 22 年 2 月 17 日(水) |

= 研究助成 =

平成21年度共同研究の受入状況

平成21年9月30日現在

(研究協力課)

| 所 属 | 職 名 | 研究代表者 | 研 究 題 目 | 民 間 機 関 等 |
|----------|-----|-------|--------------------------------|---------------------|
| 国際交流センター | 教授 | 山岸 喬 | 道東の木材資源、野生植物資源を利用したヘルスケア商品開発研究 | 北見市/企業組合北見産学医協働センター |
| バイオ環境化学科 | 准教授 | 岡崎 文保 | 廃油を原料としたバイオディーゼル燃料の高品質化技術の開発 | 北見市/(株)東部第一 |
| 機械工学科 | 准教授 | 松村 昌典 | 航空用エンジンのファンブレードへの着氷量計測技術の研究 | (株)IHI |
| 社会環境工学科 | 教授 | 榎本 浩之 | マイクロ波/ミリ波を用いた路面状況センサの開発 | 三菱電機特機システム(株) |
| 社会環境工学科 | 教授 | 大島 俊之 | 橋梁の耐震補強と衝撃緩衝効果に関する研究 | (株)開発工営社 |
| マテリアル工学科 | 教授 | 青木 清 | 非Pd系水素分離・精製合金の研究開発 | 新日本石油(株) |
| バイオ環境化学科 | 教授 | 鈴木 勉 | 金属触媒を用いるバイオマスの二段ガス化技術の開発 | 関西産業(株) |

平成21年度累計62件

平成21年度受託研究の受入状況

平成21年9月30日現在

(研究協力課)

| 所 属 | 職 名 | 研究担当者 | 研究題目及び研究期間 | 委託機関 | 所要経費 |
|-----------|-----|-------|---------------------------------------|--------------------------------------|-----------|
| | | | | | 円 |
| 技術部 | 技術員 | 百武 欣二 | 大型氷単結晶を育成する簡易装置の開発 | 独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ北海道 | 2,000,000 |
| マテリアル工学科 | 教授 | 阿部 良夫 | 中性電解質を用いた相補型エレクトロクロミック調光ガラスの開発 | 独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ北海道 | 2,000,000 |
| バイオ環境化学科 | 教授 | 堀内 淳一 | プロテオミクスに基づく発酵乳製品の機能性評価と生産プロセスの高度化 | 独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ北海道 | 2,000,000 |
| 機器分析センター | 講師 | 大津 直史 | スラリー埋入加熱処理を利用した高密度着性ナノアパタイト被覆チタン材料の開発 | 独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ北海道 | 2,000,000 |
| バイオ環境化学科 | 准教授 | 佐藤 利次 | 食用担子菌の光誘導性タンパク質発現系の開発 | 独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ北海道 | 2,000,000 |
| 電気電子工学科 | 准教授 | 武山 真弓 | 3次元Si貫通配線のための新規成膜手法の開発 | 独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ北海道 | 2,000,000 |
| バイオ環境化学科 | 助教 | 多田 清志 | キシリトールを糖質原料としたアスタキサンチン生産プロセスの開発 | 独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ北海道 | 2,000,000 |
| 情報システム工学科 | 助教 | 前田 康成 | 既存データが少量でも分類可能な文書分類技術の高機能化開発と応用 | 独立行政法人科学技術振興機構 分任契約担当者イノベーション推進本部 | 5,000,000 |

平成21年度累計 16件

平成21年度奨学寄附金受入状況

平成21年9月30日現在

(研究協力課)

| 所 属 | 職 名 | 研 究 者 | 寄 附 目 的 | 寄 附 者 | 寄附金額 |
|---------|----------|----------------|-------------------------------------|------------------|-----------|
| | | | | | 円 |
| | 学長 | 鮎田 耕一 | ヨット及びトランポリンの購入補助として | 北見工業大学学生後援会 | 1,000,000 |
| | 学長 | 鮎田 耕一 | 研究者、研究生の交流支援 (若手研究者の国際会議参加旅費の助成) | 北見工業大学後援会 | 150,000 |
| 社会環境工学科 | 教授 | 大島 俊之 | 橋梁の耐震補強設計とゴム製緩衝材の機能特性の研究 | (株)開発工営社 | 500,000 |
| 社会環境工学科 | 准教授 | 永禮 英明 | 湖沼流域管理に関する研究助成 | パシフィックコンサルタンツ(株) | 1,000,000 |
| 電気電子工学科 | 准教授 | 菅原 宣義 | 配電用機材の塩雪害および急速汚損に関する研究 | 北海道電力(株) | 1,000,000 |
| 電気電子工学科 | 教授 助教 | 田村 淳二 高橋 理音 | 「風力発電出力変動に伴う電力系統への影響低減策に関する研究」 | 北海道電力(株) | 1,000,000 |

平成21年度累計 44件

平成21年度(財)クリタ水・環境科学振興財団研究助成金の課題採択決定

| 所 属 | 職 名 | 氏 名 | 研 究 課 題 | 交付金額 |
|---------|-----|-------|---------------------------|-------|
| 社会環境工学科 | 准教授 | 永禮 英明 | 釧路湿原の地下水水質分布と植生への影響に関する検討 | 550千円 |

= 諸報 =

「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト（SPP）事業」を実施

（学生支援課）

8月3日(月)～4日(火)の2日間、北見柏陽高等学校より20名の高校生を迎え、サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)事業を行いました。この事業は、独立行政法人科学技術振興機構において実施するもので、本学では平成15年度よりこの事業に採択され、地元の高校生を対象とした講義・実験などを行っています。

今回のテーマは「新エネルギー体験～メタンハイドレートと燃料電池～」で、機械工学科の佐々木正史教授と山田貴延准教授を講師に、初日は新エネルギーに関する講義やメタ

ンハイドレートの燃焼実験を、2日目は燃料電池の性能実験やFC(燃料電池)カートの試乗体験を行いました。高校生は全員、メタンハイドレートを見るのも触れるのも初めてで、冷たい氷が燃えるという現象に驚いていたようです。燃料電池の性能実験では、大学生・大学院生のサポートを受けながら計測や計算に取り組み、考察・発表を行うなど、新エネルギーに対する理解を深め、充実した2日間となりました。



↑ メタンハイドレートの燃焼実験



↑ 燃料電池の性能実験



← FCカートの試乗体験

「科学研究費補助金パワーアップセミナー」を開催

(研究協力課)

8月4日、総合研究棟多目的講義室において「科学研究費補助金パワーアップセミナー」と題した科研費説明会が開催されました。

セミナーでは、文部科学省研究振興局学術研究助成課長 山口 敏 氏、ならびに大阪大学産業科学研究所 教授 沼尾 正行 氏(前 日本学術振興会学術システム研究センター主任調査員)の2名を講師にお招きし、鮎田耕一学長の挨拶の後、山口課長は「科学研究費補助金について」、沼尾教授は「科学研究費補助金申請書作成のポイント」と題して講演を行いました。

山口課長からは、「科学研究費補助金の概要や研究成果の具体例」、「科研費を巡る現状や課題」、「審議会における議論」等について、沼尾教授からは科学研究費補助金の計画調書作成のポ

イントや審査方法についての説明があり、参加者はお二方の話に熱心に耳を傾け、頷きながらメモをとるなど、科研費についてより理解を深めました。

なお、本セミナーには本学をはじめ、オホーツク管内の日本赤十字北海道看護大学、釧路公立大学、釧路工業高等専門学校からも教職員が来学し、総勢133名の参加となりました。



↑ 鮎田学長の挨拶



↑ セミナー会場の様子



↑ 科研費の概要について説明する山口課長



↑ 計画調書作成について講演する沼尾教授

おもしろ科学実験を開催

(企画広報課)

8月8日(土)本学で、10回目になる「おもしろ科学実験」が開催されました。このイベントは、夏休み中の小中学生を対象として、ものを作る喜びや科学の不思議を体験してもらおうと、平成12年度から毎年行われているものです。今年も、昨年に引き続き協賛の北海道電力株式会社北見支店様からも1つテーマを提供していただき、計22と過去最多のテーマ数での実施となり

ました。

当日は天候にも恵まれ、北見市内を中心に札幌や道外からも多くの子供たちが集まり、524名が参加してくれました。

開会式の鮎田学長の挨拶の後、子供たちは早速、それぞれのテーマに分かれて作業をしたり、実験をしたり、楽しいひとときを過ごしました。



← 開会式の様子



↑ 北電北見支店：「環境にやさしい発電を探ろう！」
実験風景



↑ 「洪水を防ぐ方法を知ろう」の
実験風景

北見工業大学「技術士養成支援講座」の閉講式

(研究協力課)

札幌サテライトにおいて開講されていた平成21年度の北見工業大学「技術士養成支援講座」閉講式が去る8月21日(金)に執り行われました。

本講座は、札幌市近郊に在住する北見工大の土木開発工学科卒業生を中心とした社会人を対象として、札幌在住の北見工大出身技術士7名及び北見在住の2名が講師となり、実践的な講義内容を親切・丁寧に指導し、「技術士」の資格取得を支援するもので、平成18年度から引き続き実施されています。

開講期間は、1月から7月までの第1

月曜日及び第3金曜日に合計13回、開講時間については、勤務後に参加しやすいように18時から2時間で実施しました。

閉講式は、受講者18名のうち11名が出席し、鮎田学長から一人一人に「受講証書」が手渡された後、閉講にあたっての挨拶があり、次いで受講者代表からの謝辞をもって閉会となりました。引き続き、本学の大学紹介DVDを視聴した後、学長、各講師とともに記念撮影を行いました。

本学では、反響も大きいことから来年も引き続き実施することとしています。



↑ 鮎田学長からの挨拶



↑ 鮎田学長を囲み受講者及び講師

平成21年度北見工業大学技術部技術員研修会を開催

(技 術 部)

平成21年度北見工業大学技術部技術員研修会を8月26日(水)に、本学総合研究棟多目的講義室にて実施しました。

この研修は、本学の技術員としての職務を遂行する上で必要な知識等を広く習得させ、資質の向上・技術の継承を目的として毎年実施されています。

研修では、石川事務局長、佐々木副学長に

よる各講義で、大学の現状を分かりやすく話していただきました。

さらに午後からの研修では、先輩講話・ISO14001 関係・研修会報告及び、技術員による技術発表が行われ、先輩の貴重な体験談や他大学で行われた研修会の様子、また、技術員の日頃の業務成果等が発表され、お互いの技術研鑽・技術交流を深めました。



← 研修会風景



石川事務局長による講義 →

財務諸表等の開示

(財務課)

国立大学法人法に基づき、平成 21 年 9 月 1 日付けで文部科学大臣の承認を受けた平成 20(第 5 期)事業年度の財務諸表(附属明細書を含む。)及び関係書類を、本学ホーム

ページの情報公開(<http://www.kitami-it.ac.jp/pubdoc/system/zaimu/index.htm>)に登載しましたのでお知らせします。

メンタルヘルス講演会を開催

(学生支援課)

9 月 2 日(水)、総合研究棟多目的講義室において、教職員を対象とした「メンタルヘルス講演会」を開催しました。

講演会には、北海道教育大学釧路校 二宮信一氏を講師にお招きし、「大学における発達障害のある学生支援」と題してご講演いただきました。

講演では、発達障害の学生が示す状態の特徴や、ご自身の経験を交えた事例の紹介、また、学生への関わり方について説明があり、発達障害を持つ学生との間には上手な依存

関係、対人関係を築くことが大切であるとのお話がありました。

普段、学生の様々な相談に応じることとなる教職員は熱心に耳を傾け、講演終了後には、相談を受けた学生に対する対応の仕方についてなどの質問が寄せられました。

今後、学生や同僚から相談が寄せられる場面や、心理面での健康管理の必要性が高まっていくことが予想されることから、メンタルヘルスに関する講演会を、内容を充実させながら継続的に実施していくこととしています。



↑ 講師の二宮先生



↑ 講演会の様子

全国4大学による学生支援GPシンポジウムを開催

(学生支援課)

9月5日(土)、学生支援GPシンポジウムを開催しました。

この学生支援GP(新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム)は、文部科学省が大学教育改革の支援の一つとして、平成19・20年度に募集したもので、今回のシンポジウムでは、平成19年度に採択された全国4大学のプログラムが紹介されました。

本シンポジウムのテーマを「ICT(情報通信技術)を利用したきめ細かな学生支援」とし、富山大学: (「オフ」と「オン」の調和による学生支援)、佛教大学: (「縁」コミュニティによる離脱者ゼロ計画)、國學院大學: (学生みずから発信する「自分史」作成支援)、及び北見工業大学: (夢を育むe-学生支援)、からプログラムの進捗状況や最新情報の発表と意見交換が行われました。

それぞれユニークな名前のプログラムで、富山大学の「オフ」と「オン」は、対面(オフライン)とネットワーク(オンライン)を意味し、佛教大学の「縁(えにし)」は、セーフティネットによる入学者全員の卒業を目指すプログラム、國學院大學の「自分史」は、学生みずから目標設定やその評価を電子ポートフォリオとして記録することで、学修支援や社会人基礎力を養成するプログラムです。

いずれもICTを駆使した学生支援プログラムで、パネルディスカッションでは、教育現場に直結した議論が活発になされ、講師の方々からも大変有意義なシンポジウムであったという感想もいただきました。



↑ パネルディスカッションの様子



↑ 左から 吉永講師(富山大学)、原講師(佛教大学)、松本講師(國學院大學)、平山講師(北見工業大学)

救急救命講習会を開催

(施設課)

9月7日(月)1号館講義室及びコミュニティアトリウムにて、教職員を対象とした救急救命講習会を実施し、23名が受講しました。

最初に当大学保健管理センター所長 本田教授より心肺蘇生法について講話があり、続いて北見地区消防組合職員を講師に招き、救急救命について実物のAEDを使用した座学、及び訓練用AEDを用いた実施訓練を行いました。

受講者は、教育研究現場において起こりうる

事故を想定した質問を積極的に行い、また実施訓練では身近な人を要救助者に見立てて訓練を行うなど、非常に熱の入った講習となりました。

その後、受講者は救急救命講習Ⅰ修了証を受け取り、救急救命に対する理解を深めて講習会を終えました。



↑ 講習会の様子

SVBL オープンラボ（研究報告会）を開催

（研究協力課）

9月17日（木）、総合研究棟多目的講義室においてSVBL オープンラボ（研究報告会）が開催されました。

4回目の開催となる今回は、従来の研究報告会及びラボツアーに加え、基調講演を実施しました。講演者には、VBL 関係の第1人者である各務茂夫氏（東京大学産学連携本部 事業化推進部長・教授）を迎え、「大学ベンチャーとイノベーション」と題してご講演いただきました。

研究報告会では、「抗ウイルス性を持つ硫酸化多糖類の合成と医用材料化」など7つの研究プロジェクトから研究内容について報告

がありました。またラボツアーでは、ドライビングシミュレータやモーションキャプチャシステムなどの実演や体験を通して、先端技術を肌で感じていただきました。

今回のオープンラボには、本学教職員・学生をはじめ、一般市民、共同研究先企業、地方自治体などから98名が参加し、実りある報告会となりました。



↑ 各務教授の基調講演



↑ ラボツアーの様子

父母懇談会（秋季・札幌）を開催

（学生支援課）

例年、春・秋に年4回開催している「父母懇談会(秋季・札幌)」を、9月26日(土)北海道大学学術交流会館を会場として実施しました。

当日は、111組142名の父母が参加し、田牧副学長からは挨拶と併せて「高等教育における北見工業大学の取り組みの現状と目標」、田中学生会後援会会長からは「後援会の活動状況など」について説明がありました。

その後、各学科、専攻に分かれて行われた個別面談では、各学科の教員が対応し、父母

からは修学状況、就職問題等について質問が出され、熱心にやりとりが交わされました。

また、個別面談までの待ち時間には、田牧副学長が父母からの質疑に回答する時間が設けられ、大学生活の内容や学生をとりまく生活環境に焦点がおかれた質問や、学生が就職活動の際、必要とする基本的事項や情報収集、また大学院の進学と就職に関する質問が寄せられました。



↑ 全体説明会の様子

= 日誌 =

(企画広報課)

8 月

- 3日 役員会
サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト事業(～4日)
- 4日 科学研究費補助金パワーアップセミナー
- 5日 教育研究評議会
- 8日 おもしろ科学実験

- 21日 「技術士支援講座」閉講式
- 24日 平成21年度秋季・平成22年度大学院博士
前期課程入学試験(～25日)
- 26日 平成21年度秋季大学院博士後期課程入学試
験
入学者選抜委員会
技術部技術員研修会
- 28日 教務委員会



9 月

- 2日 メンタルヘルス講演会
- 5日 学生支援GPシンポジウム
- 7日 役員会
- 8日 国際交流委員会
入学者選抜委員会
推薦入学者選抜実施委員会
- 9日 大学院博士前期課程・後期課程合格発表
教授会、研究科委員会
- 11日 学位記授与式
- 14日 役員会
- 16日 教育研究評議会
- 17日 SVBLオープンラボ(研究報告会)
- 18日 教育改善推進センター運営会議
- 24日 教務委員会
- 26日 父母懇談会(札幌)
- 29日 よろず相談室会議

